

フジイ 蒲原平野の20世紀展 初期のハーベスターを出品

フジイ「ハーベスター」

ヰセキ「コンバイン」

○：7月18～8月30日

の正面フロアにフジイコ
メている。

まで新潟市の歴史博物
館で「蒲原平野の20世
紀～水と土の近代」と
が昭和42年に市販した自
脱コンバインが並べて展
示され入場者の注目を集

一ポレーションの初期横
型ハーベスターと井関農機
20世紀初頭の蒲原平野②
回転式脱穀機の開発と普
及③土地改良事業と大規
模排水機場の時代④機械

化農業の先進地。脱穀機
王国「新潟」など。
○：第2次世界大戦後、
土地改良が進んだ耕地に
は動力を用いた農機具が
次々に導入される。この

時代、地方の農機具メー
カーが活躍し新しい農機
具を開発・製造してい
た。会場内にも、その当
時の農機具が数多く展示
され、あたかも時代をタ
イムスリップしたような

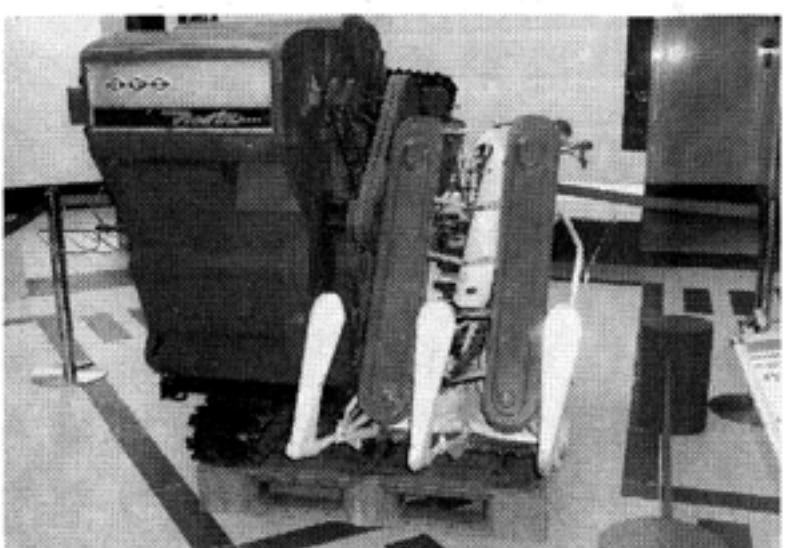
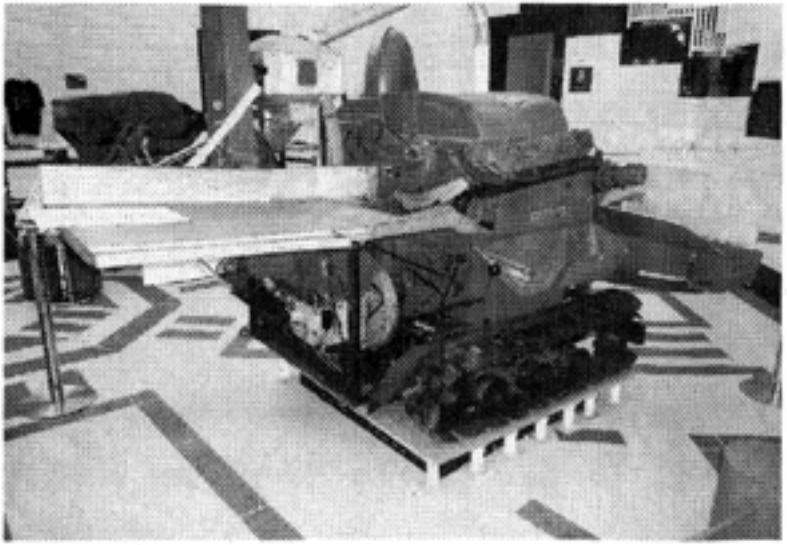
気にさせてくれる。

【フジイ・ハーベスターF
MS】新潟県は戦前か
ら脱穀機や糲すり機など
の農機具の製造・開発が
盛んな地域だった。なか

でも小池村（現燕市小池
地区）は農機具メーカー
が多数あることで有名な
村だった。本機は小池村
の藤井農機製造（現フジ
イコーコーポレーション）が

開発・製造した初期のハ
ーベスターである。自走式
脱穀機のハーベスターは、
刈り取り作業と脱穀作業
をスムーズに連続させた
(展示説明から)。

【ヰセキ・フロンティア
HD-50】昭和42年世界
で初めて市販された自脱
コンバイン。蒲原平野で
は急速に普及、米農業の
省力化に寄与した(展示
説明から)。



説明から)。